

平成26年度「復興支援インターン」の実施について

1. 概要

宮城県内の21の大学等が参画する「復興大学」主催で、日本全国の大学生に、被災企業での職業体験等を通じて、被災地及び被災地産業の現状、復興の進捗、課題等について感じ・学んで頂くとともに、そうした自らの体験等を広く発信して頂く「復興支援インターン」を今年度も実施、復興庁宮城復興局が共催する。

2. 現地活動の日程（案）

- 1日目 午前 東北学院大学でオリエンテーション（昨年度参加者の報告会実施）
午後 活動地域に入り、語り部の案内による市（町）内の視察
2～5日目 終日 受入企業での職業体験
6日目 午前 活動地域を出発
午後 東北学院大学に到着後、参加学生間で振り返り報告会

3. 平成26年度実施計画

○夏期（8月～9月）（予定）

- （1）参加学生：90名程度（参加大学7校程度見込み）
（2）受入企業：気仙沼市7社、南三陸町5社、石巻市・女川町7～10社程度（内訳）

① 南三陸町（平成26年8月25日（月）～8月31日（日））

（株）及善商店	（株）カネキ吉田商店
（株）行場商店	（株）マルアラ
（株）ヤマウチ	

※かがり火まつり復興市（8月30日（土）開催予定）参加のため、6泊7日で実施予定

② 石巻市・女川町（平成26年9月8日（月）～9月13日（土））

（株）岡清	ワイケイ水産（株）
（株）高政	（株）ヤマホンベイフーズ・（株）ヤマホン

※石巻市受入企業については現在調整中

③ 気仙沼市（平成26年9月15日（月）～9月20日（土））

（株）足利本店	（株）阿部長商店
（株）加和喜フーズ	（株）斉吉商店
（株）フジミツ岩商	（株）中華高橋水産
（株）八葉水産	

○春期（2月～3月）

- （1）参加学生：110名程度（予定）
（2）受入企業：気仙沼市7社、南三陸町5社、石巻市・女川町7～10社程度
亘理町・山元町5社程度

4. 実施体制

主催：復興大学※

共催：地元商工会議所又は商工会（予定）、宮城復興局

後援：宮城県（予定）、市町村（予定）

※東日本大震災後、学都仙台コンソーシアム参加構成委員の大学・高専等が宮城県や県内の自治体等と協力して「復興人材育成教育コース」「教育復興支援」「地域復興支援ワンストップサービス」「災害ボランティアステーション」の4つの事業を推進。[\(https://www.fukkou-daigaku.jp/\)](https://www.fukkou-daigaku.jp/)

【問合せ先】

復興庁宮城復興局 後藤、^{くがたに}陸 敦

電話：022-266-2250

復興庁ボランティア・公益的民間連携班
品川、藤田、今井

電話：03-5545-7480

(参考)

平成25年度の実績

○夏期（8月～9月）

- (1) 参加学生：全国8大学、58名
- (2) 受入企業：気仙沼市7社、南三陸町5社
- (3) 受入企業と参加学生のマッチング

① 気仙沼市（平成25年8月26日（月）～8月31日（土））

受入企業	参加大学名
(株) 足利本店	名古屋学院大学
(株) 加和喜フーズ	西南学院大学
(株) 斉吉商店	早稲田大学
(株) フジミツ岩商	中央大学

② 気仙沼市（平成25年9月2日（月）～9月7日（土））

受入企業	参加大学名
(株) 阿部長商店	中央大学
(株) 中華高橋水産	西南学院大学
(株) 八葉水産	大阪学院大学
(株) フジミツ岩商	早稲田大学、同志社大学

③ 南三陸町（平成25年9月9日（月）～9月14日（土））

受入企業	参加大学名
(株) 及善商店	早稲田大学
(株) カネキ吉田商店	名古屋学院大学
(株) 行場商店	麗澤大学
(株) マルアラ	西南学院大学
(株) ヤマウチ	神戸学院大学

○春期（2月～3月）

- (1) 参加学生：全国7大学、50名
- (2) 受入企業：気仙沼市6社、南三陸町5社
- (3) 受入企業と参加学生のマッチング

④ 南三陸町（平成26年2月17日（月）～2月22日（土））

受入企業	参加大学名
(株) 及善商店	西南学院大学
(株) カネキ吉田商店	西南学院大学
(株) 行場商店	名古屋学院大学
(株) マルアラ	神戸学院大学
(株) ヤマウチ	広島修道大学、東北学院大学

⑤ 気仙沼市（平成26年2月24日（月）～3月1日（土））

受入企業	参加大学名
(株) 足利本店	神戸学院大学
(株) 加和喜フーズ	広島修道大学
(株) 斉吉商店	東北学院大学
(株) フジミツ岩商	西南学院大学、名古屋学院大学
(株) 中華高橋水産	大阪学院大学
(株) 八葉水産	中央大学

- 日本全国の大学生が被災企業で職業体験し、被災地および被災地産業の現状、復興の進捗、課題等について感じ・学んだことを全国各地で情報発信する。
- 震災の風化の抑制や復興支援に当たる若者の人材育成を図り、ひいては被災地産業の振興、更には被災地全体の振興に寄与することを目的とする。
- 宮城県内の21の大学等が参画する復興大学(事務局:復興大学災害ボランティアステーション)、地元商工会議所、復興庁宮城復興局による共同事業。



大学祭での物販
と講義での報告会



モノ、ノウハウ、経験、
情報、気持ち

学祭等での
・被災地産品を食材として
使った料理等の物販
・パネル展示等による情報
発信



モノ、ノウハウ、経験、
情報、気持ち

学生(ヒト)

●●大学

学生(ヒト)



地元企業での就業体験
と社長との意見交換



職業体験
(人材育成)



毎晩のミーティング
と最終日のふりかえり報告会

